

ぎょう虫卵検査の実施について

「いまだき、寄生虫なんか…」と思いますが、ぎょう虫卵は平成 10 年頃より集団感染の意識低下により保育園・幼稚園・小学校で多くみられるようになりました。多くの保育園等では、年一回、夏のプールが始まる前だけ実施しているようですが、昼寝用フンでも感染は広がりますので、当園ではフン乾燥消毒を毎月、ぎょう虫卵の検査を年 2 回実施しています。

【ぎょう虫卵があるときの症状】

- 肛門のまわりのかゆみ
- 夜泣き、寝つきが悪い
- 神経質(イライラ、落ち着きがない)
- 注意力散漫
- 食欲不振、腹痛、便秘、下痢



ぎょう虫卵

【画像出典：国立感染症研究所】

このような症状が出る場合があります。ぎょう虫駆除の薬を家族全員で飲めばなおります。

【予防法】

- ツメは短く切りましょう。
- 食事の前や、外から帰ってきた時は、石鹸でよく手を洗いましょう。
- 掃除機をまめにかけましょう。
- フンはよく日光に当て、十分湿気をとりましょう。
- 毎日入浴し、下着も毎日取り替え、清潔にしましょう。

ぎょう虫卵の検査は、検便ではなく、セロハンテープによる「肛門周囲 2 回検査法」で行います。特殊な粘着性のテープを肛門のヒダをのぼした状態で強く押しつけて、そのテープについた卵を顕微鏡で調べる方法です。朝、目が覚めたときに、そのまま寝床の中でテープを肛門にあて、上から 5、6 回押さえ込むようにします。しっかり押さえるのがコツです。

開封部を左右に引っ張ってセロハンの部分が表に出るようにします。セロハン部分を開きます。



お子さんをヒザをつけて動かないようにし、のりの付いた面を肛門に押しつけます。



6月30日(月)から7月3日(木)までの間の2日間連続で、朝起きたら、排便前にお尻に当ててください。そして・・・

7月3日(木)までにご提出ください。